

Q1.小久保工業所様の会社概要についてお話しください。

当社は、1988年、昭和63年創業です。靴下手袋製造会社に勤めていた私が、靴下の丸編みからヘアバンドを考案(特許取得)し製造を始めた。平成63年当時は、バブル期の前であり、その後の平成はバブル期、ディスコブームがあり、ワンレグ、ボディコンで髪の高い人が多かった。ヘアバンドでポニーテールにする人などが多かった。今でもよく使われているが、長い髪を束ねるバンスクリップ(特許取得)も製造販売をした。

また、ナショナル、松下電器産業(現在のパナソニック)のナショナルの特製品フェアに採用された商品が良く売れた。ティッシュとゴミ袋入れが一体化した製品。

最初の頃は、ヘア関係と特製品フェアで採用された商品が主流だった。その後、バブルがはじけて、昔から海安市に多かった家庭用品を扱うようになった。しかし、古くからある会社に対して同じことをしていてもダメだったので、武器を持つということで「二又の洗濯ばさみ(特許取得)」日本で初めて製造した。

その後、縁あって、蚊取り線香や日本で最初に入浴剤を作った「紀陽除虫菊」をグループにし、長野県にある「扶桑化学」をグループに入れ、今日に至っている。

また、当社が初めて作った商品に排水溝の水切りネットがある。そこから派生した、洗顔ネットがヒット商品(共に特許取得)になっている。

Q2.ここに沢山の商品がディスプレイされていますが、取り扱われている商品は何点ぐらいありますか。

また、暮らしに役立つアイテムを多数開発販売、日本のみならず世界に展開をされていますが、どのような商品が主力商品でしょうか？

大体1500~1600アイテムある。
キッチン用品と洗濯用品が多い。今は室内に特化して(室内物干し)に重点を置いている。
今、世界的に日本ブームである。箸を使えるのが欧米人のステータスになっている。
漆器用品に注力をしている。

Q3.御社の企業コンセプトは【工夫で、しあわせ】であるとHPで拝見しました。「ものづくり」のポイントは「ひと工夫」、この企業コンセプトについて、ご説明をお願いします。

アイデア商品と言うと、多機能など一部マニア受けしたものになるが、多くの皆さんに受け入れてもらうためには、ひと工夫で止める。その商品は何をするものかを主に考え、その代わりにオシャレなデザインにする工夫をしている。

日本には「痒い所に手が届く」という言葉があるが、お客様に「痒い思いをさせない」をコンセプトにしている。

Q4.これまでの最大のヒット商品を教えてください。

洗顔ネットです。洗顔は顔に手を触れず、泡で行うもの。このネットは私が考えたが、当初、あまり売れなかった。社員に使ってもらったが、社員の評判も悪かった。しかし「思いっきりテレビ」というテレビ番組の洗顔特集で紹介された。そこから広まった。化粧品会社からも連絡もあり広まった。

Q5.海外でも展示会を開くなど世界に商品を届けていますが、日本と海外でのニーズの違いはどのようなものがありますか？また、その違いにどのように対応していますか？

今後、日本は人口が減る。しかし、地球規模で見れば人口は増える。今後を考えた時、軸足を海外に置く必要がある。トヨタ自動車でも、アメリカで売るために左ハンドルの車を作っている。例えば、サイズの問題。アメリカではホームパーティーが開かれる。パーティーグッズが売れる。その時、パーティーで使うボール、大きなサイズが必要になる。

また、パッケージの印刷、日本語と英語の両記載が必要になる。当社は5年前から日本語、英語の両表記を行っている。

Q6.社長自身がアイデアマンだとホームページの動画にあったのですが、行き詰まったり悩んだりした時どうやって解決していますか？

あまり行き詰ることはない。家庭用品は、一般的に女性の方が扱うことが多い。しかし、女性は忙しいから、不便さは感じているが、解決方法について考えていない状況にある。忙しい女性を見ている男性のほうが考えていて、アイデアが湧いてくることがある。

Q7.毎月100近くの新製品が出るとありました。どんな方々がアイデアを出し合っているのでしょうか？

もちろん私も考えている。企画部員のスタッフもいる。当社では、社員一丸になって考えている。アイデア箱というものを置いていて、アイデアを募っている。金一封も出している。一般の人からのアイデアもある。

Q8.最後に、御社の企業理念、将来ビジョンについて話して下さい。

全社員にシリアルナンバーを打ったカードを持たせている。
社長の番号は1。
そのカードに企業理念と行動指針が書いてある。
「メイドインジャパン」ではなく「メイドイン小久保を作ろう」です。

企業理念

- 創意・工夫、改善・改革
- 社員の幸せと社会への貢献
- 環境への配慮

行動指針

- 常に、元気で活力ある職場でありつづけます。
- お客様から笑顔で「ありがとう」と言われるように努めます。
- 常に、改善・改革への取り組みをわすれません。
- 調和や協調性は仕事の中で培っていきます。
- 自分の行動(考動)には、陰日なたなくつとめます。
- 常に苦難に立ち向かい、逃げることはありません。
- 時間厳守につとめます。
- 整理整頓に努め、事故を無くし環境に優しくありつづけます。
- 言い訳や反省よりも、次の成果を目指し実践します。
- 良いと思うことは勇気を出して申し出る。そして実行します。